

あいさつ



公益財団法人日本パラスポーツ協会
会長 森 和之

「第15回全日本パラ卓球選手権大会(肢体の部)」の開催にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

本大会は国際ルールを適用して開催される国内競技大会で、国際大会への登竜門として位置づけられている大会と伺っています。参加される選手の皆さんには、1年後に控えるパリ2024パラリンピック競技大会をはじめ、国際大会出場への足掛かりとなるよう、日頃の練習の成果を存分に発揮していただきたいと思います。

本大会の熱戦の様子はオンラインでも配信予定なので、ご自宅等で気軽に多くの方に観戦いただくことが可能になっていますが、実際の会場でお時間ありましたら、この機会にトップ選手のキレのあるサーブや粘り強いラリーなどを身近で観戦していただき、パラ卓球を通じて、パラスポーツの魅力を知っていただけると嬉しく思います。

当協会では、「2030年ビジョン」を策定し、「パラスポーツを普及・拡大する(すそ野を広げる)」取り組みと「競技力向上を図る(山を高くする)」取り組みを「好循環」させることによる「活力ある共生社会の実現(木を繁らせる)」を目指しております。本大会を通じて、その実現のためパラスポーツの振興が着実に進められるものと確信しております。

最後に、大会開催のためにご尽力いただきました多くの関係者の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、多くのボランティアの方々に支えられた素晴らしい大会となりますよう祈念いたします。